



2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社 大森屋

上場取引所 東

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲野 達郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中田 勝

TEL 06-6464-1198

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	9,438	6.5	246	2.0	250	0.7	163	69.0
2018年9月期第2四半期	8,860	6.6	251	141.5	248	125.1	529	753.1

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 115百万円 (77.3%) 2018年9月期第2四半期 508百万円 (509.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	32.33	
2018年9月期第2四半期	104.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第2四半期	14,218	10,297	72.4	2,030.43
2018年9月期	14,422	10,258	71.1	2,022.68

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 10,297百万円 2018年9月期 10,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		15.00	15.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	4.0	345	23.1	350	22.5	230	63.6	45.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	5,098,096 株	2018年9月期	5,098,096 株
期末自己株式数	2019年9月期2Q	26,520 株	2018年9月期	26,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	5,071,576 株	2018年9月期2Q	5,072,277 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する注記は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお上記予想に関する事項については、添付資料3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の継続的改善等により、企業収益・設備投資が堅調であったことから、緩やかな回復基調であったものの、海外経済の不確実性などにより景気の先行きは不透明で推移いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境といたしましては、消費者の節約志向、低価格志向は恒常化しており、また今収穫期における原料海苔は記録的な不作となり仕入価格が高騰するなど、大変厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社では製造能力の拡充に注力するとともに、物流費、人件費をはじめとするコスト増に対応するべく効率的な生産活動に努めてまいりました。また、海苔以外の新製品開発にも重点を置き、積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,438百万円（前年同期比6.5%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は246百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益は250百万円（前年同期比0.7%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期にあった不動産の譲渡による固定資産売却益（特別利益）が当期はなかったことなどから163百万円（前年同期比69.0%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、第1四半期連結会計期間より、「不動産賃貸事業」の重要性が乏しいことから、報告セグメントを「食品製造販売事業」のみに変更しております。その結果、当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、売上高を品目別に分類しますと、家庭用海苔につきましては、海苔の健康効果がテレビ番組で放送されたことなどにより需要が高まり、売上高は3,820百万円（前年同期比5.0%増）となりましたが、進物品につきましては、ギフト市場の不振により、売上高は720百万円（前年同期比4.0%減）となりました。ふりかけ等につきましては、他社とのコラボによるふりかけ製品が好調を維持し、売上高は1,907百万円（前年同期比4.4%増）となりました。業務用海苔につきましては、新規取引先の開拓に加え既存取引先での販売が増加し、売上高は2,957百万円（前年同期比13.1%増）となりました。その他につきましては、売上高は31百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて204百万円減少し、14,218百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて35百万円減少し、11,319百万円となりました。これは現金及び預金が2,084百万円、受取手形及び売掛金が242百万円それぞれ減少したこと、たな卸資産が2,149百万円、その他の流動資産が140百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて168百万円減少し、2,899百万円となりました。これは主に、投資有価証券が69百万円、機械装置及び運搬具が68百万円、繰延税金資産が48百万円それぞれ減少したこと、建物及び構築物が14百万円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて35百万円減少し、3,296百万円となりました。これは主に、未払法人税等が256百万円、その他の流動負債が206百万円、支払手形及び買掛金が193百万円、未払金が179百万円それぞれ減少したこと、短期借入金が812百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて207百万円減少し、624百万円となりました。これは主に、役員退職慰勞引当金が203百万円、長期借入金が36百万円それぞれ減少したこと、長期未払金が44百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて39百万円増加し、10,297百万円となりました。これは主に、利益剰余金が87百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が50百万円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて2,084百万円減少し、602百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は2,352百万円（前年同期比946百万円増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益253百万円（前年同期比462百万円減）、売上債権の減少額237百万円（前年同期は34百万円の増加）、減価償却費116百万円（前年同期比52百万円増）の収入があった一方、たな卸資産の増加額2,149百万円（前年同期比649百万円増）、法人税等の支払額264百万円（前年同期比222百万円増）、仕入債務の減少額211百万円（前年同期比136百万円増）、役員退職慰労引当金の減少額203百万円（前年同期は5百万円の増加）、その他の資産・負債の増加額149百万円（前年同期比116百万円増）の支出があったことによるものであります。

なお、当社の主要原材料である海苔は、おおよそ11月から翌年3月にかけて収穫され、この期間に翌1年分の原料海苔を仕入れるため、第2四半期連結会計期間末ではたな卸資産が増加いたします。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は432百万円（前年同期は896百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出425百万円（前年同期比3百万円減）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は700百万円（前年同期比590百万円減）となりました。これは短期借入れによる収入800百万円（前年同期比300百万円減）があった一方、配当金の支払額75百万円（前年同期比3百万円増）、長期借入金の返済による支出24百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の業績予想につきましては、2018年11月9日付の「平成30年9月期決算短信」で公表しました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（2019年5月14日）公表しました「2019年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,686,242	602,238
受取手形及び売掛金	3,282,444	3,040,212
たな卸資産	5,371,461	7,521,344
その他	15,119	155,761
流動資産合計	11,355,267	11,319,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,771,520	2,811,913
減価償却累計額	△1,826,163	△1,852,481
建物及び構築物(純額)	945,356	959,432
機械装置及び運搬具	2,448,495	2,459,270
減価償却累計額	△1,693,423	△1,772,435
機械装置及び運搬具(純額)	755,072	686,835
土地	721,179	721,179
その他	264,979	271,096
減価償却累計額	△246,733	△247,701
その他(純額)	18,246	23,395
有形固定資産合計	2,439,854	2,390,842
無形固定資産	15,852	13,726
投資その他の資産		
投資有価証券	434,277	365,086
繰延税金資産	142,380	94,113
その他	37,573	37,760
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	611,931	494,660
固定資産合計	3,067,638	2,899,229
資産合計	14,422,906	14,218,785
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,409,753	1,215,862
短期借入金	60,500	872,600
未払金	1,214,442	1,035,425
未払法人税等	286,479	30,000
賞与引当金	91,408	79,536
その他	270,093	63,443
流動負債合計	3,332,677	3,296,869
固定負債		
長期借入金	302,500	266,200
役員退職慰労引当金	203,854	—
退職給付に係る負債	325,676	314,194
長期末払金	—	44,045
固定負債合計	832,031	624,440
負債合計	4,164,708	3,921,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	8,281,693	8,369,575
自己株式	△25,774	△25,774
株主資本合計	10,114,130	10,202,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,830	101,341
為替換算調整勘定	9,777	9,786
退職給付に係る調整累計額	△17,540	△15,664
その他の包括利益累計額合計	144,066	95,463
純資産合計	10,258,197	10,297,476
負債純資産合計	14,422,906	14,218,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	8,860,783	9,438,080
売上原価	5,978,326	6,426,904
売上総利益	2,882,456	3,011,175
販売費及び一般管理費	2,631,316	2,765,078
営業利益	251,140	246,096
営業外収益		
受取利息	25	35
受取配当金	3,575	3,612
助成金収入	1,460	877
その他	1,318	1,280
営業外収益合計	6,380	5,805
営業外費用		
支払利息	372	608
支払手数料	5,979	63
為替差損	1,484	697
その他	959	—
営業外費用合計	8,795	1,368
経常利益	248,724	250,533
特別利益		
固定資産売却益	435,876	—
投資有価証券売却益	56,824	—
ゴルフ会員権売却益	150	—
受取保険金	—	8,895
特別利益合計	492,851	8,895
特別損失		
固定資産除却損	39	0
ゴルフ会員権退会損	4,591	—
災害による損失	—	6,261
お別れの会関連費用	21,737	—
特別損失合計	26,369	6,261
税金等調整前四半期純利益	715,206	253,167
法人税、住民税及び事業税	206,518	19,511
法人税等調整額	△20,485	69,701
法人税等合計	186,032	89,212
四半期純利益	529,174	163,955
親会社株主に帰属する四半期純利益	529,174	163,955

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	529,174	163,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,610	△50,489
為替換算調整勘定	11	9
退職給付に係る調整額	2,457	1,876
その他の包括利益合計	△21,141	△48,602
四半期包括利益	508,032	115,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508,032	115,352
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	715,206	253,167
減価償却費	63,442	116,244
受取利息及び受取配当金	△3,601	△3,647
支払利息	372	608
固定資産売却損益(△は益)	△435,876	—
固定資産除却損	39	0
ゴルフ会員権退会損	4,591	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△150	—
受取保険金	—	△8,895
災害損失	—	6,261
投資有価証券売却損益(△は益)	△56,824	—
為替差損益(△は益)	885	△452
売上債権の増減額(△は増加)	△34,755	237,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,500,849	△2,149,912
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,649	△211,887
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,329	△11,871
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,650	△203,854
長期未払金の増減額(△は減少)	—	44,045
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13,880	△11,481
その他	△32,832	△149,071
小計	△1,366,562	△2,092,785
利息及び配当金の受取額	3,601	3,647
利息の支払額	△552	△772
保険金の受取額	—	8,895
災害損失の支払額	—	△6,261
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△42,174	△264,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,405,687	△2,352,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△428,853	△425,823
有形固定資産の売却による収入	1,261,944	—
無形固定資産の取得による支出	△522	△2,000
投資有価証券の取得による支出	△3,486	△3,559
投資有価証券の売却による収入	66,739	—
ゴルフ会員権の売却による収入	1,050	—
貸付けによる支出	△1,000	△1,750
貸付金の回収による収入	250	689
その他の投資等の取得による支出	△325	△208
その他の投資等による収入	476	488
投資活動によるキャッシュ・フロー	896,272	△432,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100,000	800,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入れによる収入	363,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△24,200
自己株式の取得による支出	△182	—
配当金の支払額	△71,792	△75,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,291,025	700,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△927	89
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	780,682	△2,084,004
現金及び現金同等物の期首残高	868,336	2,686,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,649,018	602,238

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整	合計
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,853,920	6,863	8,860,783	—	8,860,783
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,853,920	6,863	8,860,783	—	8,860,783
セグメント利益	247,594	3,546	251,140	—	251,140

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

第1四半期連結会計期間より、「不動産賃貸事業」の重要性が乏しいことから、報告セグメントを「食品製造販売事業」のみに変更しております。その結果、当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、2018年11月9日開催の当社取締役会において、2018年12月20日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払い分を固定負債の「長期未払金」として表示しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。